

# L P ガス埋設管台帳・腐食測定等調査票

お客様名	様 (TEL )			お客様コード	測定優先度	A・B-1・B-2・C				
所在地				*重量建築物	該当・非該当・不明	*施設区分				
建物の種類	鉄筋コンクリート造 ・ 鉄骨造 ・ 木造 ・ その他 ( )			埋設管施工年月	(西暦) 年 月 (イ)	・不明				
供給形態	容器	kg× 本+	kg× 本	バルク貯槽	kg 貯槽×	基 (地上・埋設)	バルク容器	kg 容器× 基		
地下ピット・地下室の有無	有 (数: 位置: )・不明・無			<腐食測定地点概要図>  書ききれない場合は備考欄に記入  裏面も活用してください						
埋設管材料	管	白管・テープ巻白管・プラスチック被覆鋼管・配管用フレキ管・PE管・その他 ( )・不明								
	継手	白継手・テープ巻白継手・プラスチック被覆継手・PE継手・その他 ( )・不明								
	口径	15A(公称肉厚2.8mm)・20A(2.8)・25A(3.2)・32A(3.5)・40A(3.5)・50A(3.8)・80A(4.2)・不明								
埋設管の改修・改善の履歴	有	年 月 (概要)						書ききれない場合は備考欄に記入		
	無	年 月 (概要)								
	不明	年 月 (概要)								
立ち上がり部の数	ヶ所 位置					・数不明				
立ち上がり部のうち床下部の数	有	ヶ所 位置				・数不明				
	無	ヶ所 位置				・数不明				
絶縁継手の数	有	ヶ所 位置				・数不明				
	無	ヶ所 位置				・数不明				
上流側漏えい検知装置	有 (メーカー: 機種名: )・無									
腐食測定結果	測定日	20 年 月 日	天候	測定担当者	氏名: 所属:					
	測定地点		腐食測定は、3地点を実施します			測定値		C/S マクロセル腐食有無判定 (有: 通電変化値<10)	評価採用地点	備考
			管対地電位(V1) (通電前)	通電電位(V2) (通電後)	通電電流 1mA以上であること	通電変化				
	1		mV	mV	mA		有・無			
	2		mV	mV	mA		有・無			
	3		mV	mV	mA		有・無			
	白管裸埋設・テープ巻白管の場合	測定地点	埋設管口径・肉厚	腐食速度 (mm/yr)	最大腐食深さ(mm) 腐食速度(mm/yr)×埋設年数(年)	残存肉厚(mm) 埋設管の管肉厚(mm)-最大腐食深さ(mm)	穿孔までの年数(年) (I) 残存肉厚(mm)÷腐食速度(mm/yr)	採用地点	備考	
		1	A mm	mm/yr	mm	mm	年			
		2	A mm	mm/yr	mm	mm	年			
		3	A mm	mm/yr	mm	mm	年			
地盤沈下	有 (位置: 規模: 5cm未満・10cm未満・15cm未満・20cm未満・20cm以上)・無									
自記圧力計による漏えい試験	必要に応じて実施		実施の有無	有・無	漏えいの有無	有・無				
			測定圧力	初圧 KPa	分後 終圧	KPa				
掘り出し調査	必要に応じて実施		実施の有無	有 (腐食の進行状況: )・無						
判定	腐食測定	被覆管	否 通電変化値が10未満 腐食のおそれ有り、早急に改善を要す							
		適	通電変化値が10以上 腐食のおそれ無し							
	白管	穿孔までの年数(I)×0.8倍		改善期限	設置年を記入 (I) 年	現在までの経過年数 年				
		年 =改善までの年数(II)	(II) 年		改善までの年数(II)					
地盤沈下の有無		有 (措置内容: )・無								
漏えいの有無		有 (措置内容: )・無								
備考										
折衝の記録	第1回	月 日	結果説明	改善提案	見積書作成	お客様の反応:				
	第2回	月 日	結果説明	改善提案	見積書作成	お客様の反応:				
	第3回	月 日	結果説明	改善提案	見積書作成	お客様の反応:				
改善の記録 (改善年月日、改善方法等を記入)	改善方法	露出 P E フレキ P L	<改善の内容>				措 置	上流側漏えい検知装置の設置 年 月 日 絶縁継手の挿入 年 月 日		
販売事業所	名称				電話番号					
	所在地				担当者名					

\* 重量建築物とは、木造以外(鉄筋コンクリート、鉄骨、ブロック、レンガ等)の建築物であって、延べ床面積が200㎡以上のもの

\* 施設区分 1. 幼稚園、小・中・高等学校 2. 病院、診療所 3. 公会堂、図書館、博物館、美術館 4. 旅館、飲食店 5. 共同住宅 6. 一般住宅 99.その他

参考資料

L P ガス埋設管の腐食測定結果についてのお知らせ

お客様名	様 (TEL )		お客様コード	測定優先度	A・B・1・B・2・C					
所在地			重量建築物	該当・非該当・不明	施設区分					
建物の種類	鉄筋コンクリート造 ・ 鉄骨造 ・ 木造 ・ その他 ( )		埋設管施工年月	(西暦)	年 月	・ 不明				
供給形態	容器	kg × 本 + kg × 本	バルク貯槽	kg 貯槽 ×	基 (地上・埋設)	バルク容器	kg 容器 × 基			
地下ピット・地下室の有無	有 (数: 位置: ) ・ 不明 ・ 無		<腐食測定地点概要図>							
埋設管材料	管	白管・テープ巻白管・プラスチック被覆鋼管・配管用フレキ管・PE管・その他 ( ) ・ 不明								
	継手	白継手・テープ巻白継手・プラスチック被覆継手・PE継手・その他 ( ) ・ 不明								
	口径	15A(公称肉厚2.8mm)・20A(2.8)・25A(3.2)・32A(3.5)・40A(3.5)・50A(3.8)・80A(4.2)・不明								
埋設管の改修・改善の履歴	有	年 月 (概要)	)			書ききれない場合は備考欄に記入				
	無	年 月 (概要)	)							
	不明	年 月 (概要)	)							
立ち上がり部の数	ヶ所	位置	) ・ 数不明							
立ち上がり部のうち床下部の数	有	ヶ所	位置	) ・ 数不明						
	無	ヶ所	位置	) ・ 数不明						
絶縁継手の数	有	ヶ所	位置	) ・ 数不明						
	無	ヶ所	位置	) ・ 数不明						
上流側漏れい検知装置	有 (メーカー: 機種名: ) ・ 無		裏面も活用してください							
測定日	20	年 月 日	天候	測定担当者	氏名:	所属:				
腐食測定結果	測定地点		管対地電位(V1) (通電前)	通電電位(V2) (通電後)	通電電流 1mA以上であること	通電変化	C/S マクロセル腐食 有無判定 (有:通電変化値<10)	評価 採用 地点	備考	
	1		mV	mV	mA		有 ・ 無			
	2		mV	mV	mA		有 ・ 無			
	3		mV	mV	mA		有 ・ 無			
白管裸埋設・テープ巻白管の場合	測定地点	埋設管 口径・肉厚	腐食速度 (mm / yr)	最大腐食深さ(mm) 腐食速度(mm / yr) × 埋設年数(年)	残存肉厚(mm) 埋設管の管肉厚(mm) - 最大腐食深さ(mm)	穿孔までの年数(年) 残存肉厚(mm) ÷ 腐食速度(mm / yr)	採用 地点	備考		
	1	A mm	mm / yr	mm	mm	年				
	2	A mm	mm / yr	mm	mm	mm	年			
	3	A mm	mm / yr	mm	mm	mm	年			
地盤沈下	有 (位置: 規模: 5cm未満 ・ 10cm未満 ・ 15cm未満 ・ 20cm未満 ・ 20cm以上 ) ・ 無									
自記圧力計による漏れい試験	必要に応じて実施	実施の有無	有 ・ 無		漏れいの有無	有 ・ 無				
		測定圧力	初圧	KPa	分後	終圧	KPa			
掘り出し調査	必要に応じて実施	実施の有無	有 (腐食の進行状況: ) ・ 無							
判定	腐食測定	被覆管	A お客様のガス管は局部的に激しい腐食が進行しているおそれがあります。早急な改善をお勧めします。							
			B お客様のガス管には著しい腐食は見られませんでした。							
	白管	今回の測定では、ガス管は、あと	改善の	お客様がお使いのガス管は、			年	に設置され、現在までに	年	が経過しています。
		の間は	目安	測定の結果、あと			年	でガス管に孔が開くおそれがあると測定されました。	年 月 までに改善することをお勧めします。	
地盤沈下の有無	有	地盤沈下により、ガス管が損傷し、ガスが大量に漏れいするおそれがあります。早急な改善が必要です。				無	地盤沈下はありません。			
漏れいの有無	有	ガス管からガスが漏れています。爆発の危険がありますので、直ちに改善が必要です。				無	漏れいはありません。			
<b>改善のご提案</b>										
<p>・ 安心してガスをお使いいただくために 露出配管への改善をお勧めします 耐震性・耐腐食性に優れているポリエチレン管・配管用フレキ管へのお取り替えをお勧めします</p> <p>・ 改善工事をご用命の際は、工事内容の詳細を再度お打合せの上、お見積させていただきますので、下記までご連絡下さい。</p> <p>土の中に埋められたガス管(亜鉛メッキ鋼管)は、年を経るとともに腐食が進行します。環境により差がありますが、「およそ20年が取り替えの目安」と言われています。お客様の資産であります、ご使用のガス管の改善工事をお勧めします。今回の調査結果は、ガス管の使用期限を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。</p>										
腐食した埋設ガス管の例		耐震性・耐腐食性に優れたポリエチレン管		   						
<p>今回使用しました腐食測定器 (さびけん MODEL S-1)</p> <p>土中に埋設されているガス管(白ガス管等)は、コンクリート/土壌マクロセル腐食により、ガス漏れ、ひいてはガス爆発を引き起こす原因となる激しい腐食を起こすことがあります。</p> <p>本器は、埋設管の腐食状況を非掘削で測定できる腐食測定器です。</p>										
販売事業所	名称				電話番号					
	所在地				担当者名					